

# 京都モダン建築祭

近代建築の遺産を訪ねて

2024年11月9日(土)  
担当 1班



## 京都モダン建築祭

2024.11.1(金) — 10(日)

11.2(土) — 3(日) | 11.9(土) — 10(日)  
■ 中京、東山、河原町、五条、京都駅、七条  
■ 北大路、東宮、北野、西陣、御所、  
御所前、京橋、河原

■ パスポートでめぐる45建築 ■ 多彩な建築ガイドツアー ■ 各種イベントや特典も

京都モダン建築祭は、京都に現存する魅力的なモダン建築を一斉に公開するプロジェクトです。2022年に文化庁京都移転記念事業として、京都モダン建築祭委員会と京都市の共催でスタートしました。会期中、モダン建築に関するさまざまな催しが京都市内各所で一斉に行われます。

近現代に建てられたモダン建築の数々は、街の記憶を雄弁に語る生きた証人です。近代以降。戦争や震災の被害が少なかった京都には、モダン建築が数多く現存しています。(京都モダン建築祭冊子抜粋)

1班は、午前中は日本福音ルーテル賀茂川協会、日本聖公会京都復活教会、船岡温泉、京都府庁旧本館を巡りました。お腹がすいたので細い路地にあった「竹邑庵太郎敦盛」で昼食をかねて作戦会議をしながら美味しいそばを頂き、午後からは聖アグネス教会を見学、大丸ヴィラの前を通り、大徳寺まで足を伸ばしました。



## 日本福音ルーテル賀茂川教会

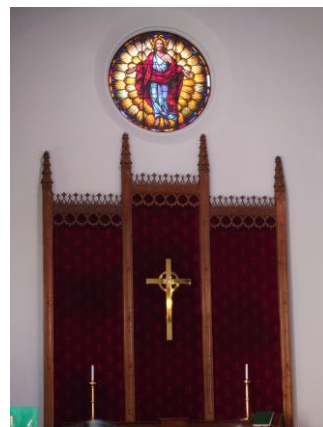


日本福音ルーテル賀茂川教会は、「ヴォーリズ建築設計事務所」の設計により1954年に建てられた。玄関、祭壇から小窓にいたるアーチ構造が特徴的で安定感を与える。



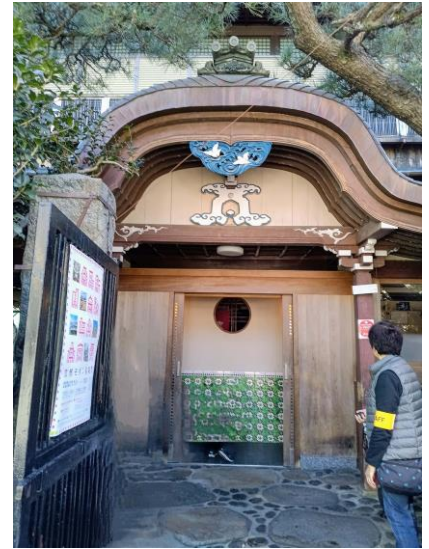
## 日本聖公会 京都復活教会

日本聖公会 京都復活教会は、1935年に教会と礼拝堂がヴォーリズの設計で建てられた。正面には、復活のイエス・キリストのステンドグラスがある。



## 船岡温泉 (国の登録有形文化財)

船岡温泉は、1923年に木造2階建ての料理旅館「船岡楼」の付属浴場として営業を開始した。脱衣所から浴室にいたるまで、大正・昭和の趣を色濃く残した銭湯です。彫刻や透かし彫り、色鮮やかなマジヨリカタイルも使われています。



## 京都府庁旧本館 (国の重要文化財)

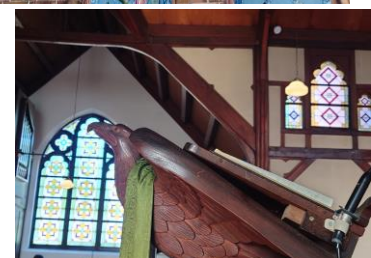
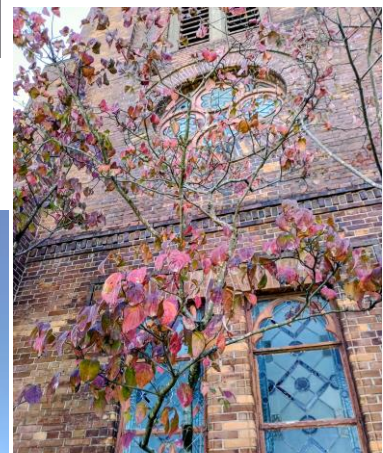


京都府庁旧本館は、1904年12月20日竣工の煉瓦造りの建物です。昭和46年まで京都府庁の本館として、また、現在も執務室や会議室として使用されている。建築時の姿をとどめる現役の官公庁建物としては、日本最古のものです。



## 聖アグネス教会 (京都市指定有形文化財)

聖アグネス教会の聖堂は、立教学院初代校長も務めたアメリカ人建築家ジェームス・マクドナルド・ガーディナーの設計で1898年に建てられた。鐘楼が大きく目立つ煉瓦造りの教会建築は、烏丸通りのランドマークとなっている。



ちくゆうあんたろうあつもり  
竹邑庵太郎敦盛



聖アグネス教会から大丸ヴィラを目指して歩いていると、「あつもりそば」の小さな看板を見つけ『ちょっと行ってみよう』となり路地に入ってみました。すぐに入店できたので、ここでランチ！お店の方に熱い方が冷たい方かと聞かれます。お椀に入った薬味と徳利型の容器に入っただしと、梅干し一粒が最初にきました。その後、ゆでたてのそばは、熱い方は木箱に入って、冷たい方は小皿に入って一人5皿きましたお椀にだしを入れて中に隠れた卵と一緒に食べるととても美味です。お値段もお手頃なので、おすすめのランチスポットです。



### 大丸ヴィラ (京都市登録有形文化財)

大丸ヴィラは、1932年に大丸百貨店店主の下村家が居宅としてヴォーリス建築事務所の設計、清水組の施工により建てられた。



ここで予定終了でしたが、時間があるので、大徳寺に行くことにしました。



### 大徳寺

大徳寺は北区にある臨済宗大徳派の大本山。1315年に創立され、20を超える塔頭（小さい寺）が立ち並びます。歴史的価値の高い国宝や重要文化財の建物、寺宝が数多くある。「一休さん」のモデルになった一休宗純（いっきゅうそうじゅん）をはじめ、多くの名僧を輩出した寺院。さらに千利休など茶の湯の歴史と深い縁があるため、重要文化財に指定された茶室も多く残っている。

気  
心  
盛  
人  
己

#### 沢庵和尚の 掛け軸より

「気は長く、心は丸く、腹立てず、人は大きく、己は小さく」と読みます。

国宝大仙院（重要文化財）は室町時代の代表的な枯山水及び方丈建築を有している。七世沢庵和尚は宮本武蔵との関係でも有名である。

